

学級活動指導案

令和2年11月12日(木) 第5校時(13:40~14:30) 2年4組(図書室) 指導者 山中 英史(T1)
学級担任(T2)

1 題材名 「自己を伸ばすキャリアプランーなりたい自分になるためにー」

2 題材観(生徒の実態を含む)

本題材は、中学校学習指導要領(平成29年告示)解説特別活動編における「学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の「ウ 主体的な進路の選択と将来設計」に基づくものである。また、「キャリア教育の手引き」(文部科学省、平成23年発行)における育成すべき基礎的・汎用的能力の一つ「自己理解・自己管理能力」を育成するための題材でもある。本題材を通して、生徒が自分の「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、今後の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとすることができるよう支援したい。

研究協力校の教育スローガン「志をもって 未来を切り拓く 三中生」には、生徒たちが今の自分自身を見つめ、未来に目を向けながら、志をもつとともに、小さな挑戦を積み重ねながら未来へと続く夢の扉を自分自身の手で開けられるようになってほしいとの思いが込められている。実際に、地域の人材や物的資源を積極的に活用して、社会人としての生き方を学ぶ未来力学習講座や職場体験学習を取り入れ、学校の教育活動全体を通して生徒一人一人のキャリア発達を促す支援や指導を充実させている。対象である第2学年(197名)に事前アンケートを行ったところ、「自分の興味や関心、長所や短所などを分かっている」生徒が90%、「将来の夢や目標が具体的になっている」生徒が54%、「学校での全ての活動や家庭での生活と、自分の将来とのつながりを考えている」生徒が53%いることが分かった。このことから、多くの生徒は自分の個性を大まかに把握し将来を見据えながら毎日の生活を送っていることが分かる。しかし、学年を担当する教職員への聴き取りによると、日常の学習活動への取組は主体的であるものの、逆境において自らを律し試行錯誤しながら最後までやり抜く姿勢に課題があるようである。さらに、学校生活の中で達成感や満足感(自己有用感・自己肯定感)を味わう経験が十分でないことも実態としてある。そこで、生徒に他者と積極的に関わりながら前向きに学習や生活に取り組んでいるこれまでの取組のよさや課題に気付かせ、キャリア発達を促すため今後の適切な目標を設定し、周囲からの継続的なフォローによって自己理解・自己管理能力を育てていくことが重要であると考え、本題材を設定した。

3 研修との関わり

受入先企業における研修では、支店での銀行実務を始め、本店において顧客の資産運用やローン融資などを扱う部署での業務に従事している。行員向け研修の企画・運営、人事部での人材育成、地域貢献活動などにも携わっている。接客・事務処理・企画立案・運営・分析などの業務に携わる中、求められる資質・能力の共通点や部署ごとの特性を体感してきた。また、金融サービスと情報技術を結び付けた様々な革新的な動きの中で、資格や検定等への挑戦でキャリアアップを図る行員の姿勢にも刺激を受けており、学び続けることの大切さと難しさを生徒たちに伝えたい。

4 指導方針

- (1) 中・長期的な期間で試行錯誤しながらのキャリア発達を促すため、キャリア・パスポートを活用する。
- (2) 社会的・職業的自立に向けては、自己理解に基づく自己決定が肝要であり、本題材では一人一人の興味・関心や特性を最大限に生かせるよう配慮する。
- (3) 自己のキャリアに対する見方・考え方を深めるには、他者からの客観的なアドバイスを得て、それを基により広い視野に立った思考が大切なため、友達との対話場面を設定する。

- (4) 自己決定を实践意欲により強く結び付けるため、臨場感がある社会人のインタビュー動画を視聴する場面を設定したり、教師からのコメント欄を用意したりする。

5 評価規準 (事前の活動→本時の活動→事後の活動)

評価規準	よりよい生活を築くための知識・技能	自分のよさや課題を踏まえた目標を設定し、達成するための具体的な手順を自分なりに明らかにしている。		
	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	なりたい自分の姿を実現するために、今後の生活で挑戦することや大切にすることを対話によって深め、キャリア・パスポートに表現している。		
	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	キャリア・パスポートや多面的・多角的なアドバイスを基に、なりたい自分を明確にしたうえで、その姿に近づく方法を考えることによって、よりよい自己実現を図ろうとしている。		
時間	主な学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
事前の活動	事前アンケートに回答する。	自分のよさや課題を踏まえた目標を設定し、達成するための具体的な手順を自分なりに明らかにしている。		将来と現在の自分の姿を客観的に捉え、比較しようとしている。
本時の活動	キャリア・パスポートを活用して、自己実現に向けて、今後の生活で挑戦することや大切にすることを考える。		なりたい自分の姿を実現するために、今後の生活で挑戦することや大切にすることを対話によって深め、キャリア・パスポートに表現している。	キャリア・パスポートや多面的・多角的なアドバイスを基に、なりたい自分に近づくための方法を考えて、実践しようとしている。
事後の活動	キャリア・パスポートと生活ノートに関連付ける。			教師からのコメントを読み意識を高めるとともに、本時の自己決定が実践できているか自主的・継続的に振り返ろうとしている。

6 本時の学習指導

- (1) **目標** キャリア・パスポートの活用や語り合いによる多面的・多角的なアドバイスを基に、今後の生活で挑戦することを考えることを通して、自己実現を図る意欲を高める。
- (2) **準備** 【教員】 デジタル黒板、パソコン、プレゼンテーション資料、インタビュー動画
【生徒】 筆記用具、ワークシート(キャリア・パスポート)、バインダー
- (3) **展開**

学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	・指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
<導入> 1 事前のアンケート結果を基に本時のめあてをたてる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 「自分の興味や関心、長所や短所などが分かっている」「将来の夢や目標が具体的にになっている」「学校での全ての活動や家庭での生活と、自分の将来とのつながりを考えている」 </div>	3分	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識を明確に方向付けるために質問項目を絞って提示する。 ◎効率的・効果的に全体的な傾向を把握できるように、プレゼンテーションソフトを使ってグラフ化したものを提示する。

<ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱりみんな自分のことはよく分かっているんだな。 ・ 将来の目標がはっきりしている人とそうでない人が真っ二つに分かれている。 ・ さすがに何年も先のことまでまだ決められないし、考える余裕も意味もない。 ・ 結構みんないろいろ考えながら毎日生活しているんだな。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの自由記述（「社会に出るに当たって気になっていることや心配なこと」）で、将来に不安を抱える生徒の悩みを共有し、課題意識をもたせる。
<p>めあて 将来に向けて語り合い、今後挑戦することを決めよう。</p>		
<p><展開></p> <p>2 行員インタビューを視聴し、社会人として必要な資質・能力を書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や礼儀が全ての出発点なのだな。 ・ 対話を通して理解を深めていくのだな。 ・ 視野が広く気付く力は重宝されるのだな。 ・ 負けん気や忍耐力など厳しいこともあるのだな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行員インタビュー「社会人として求められる力とは？」から読み取れる資質・能力以外は、生徒の推測や教師の補足から捉えさせる。 ・ 焦点が絞れるよう、キーワードをあらかじめフラッシュカードにして用意しておく。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>礼儀 チャレンジ精神 コミュニケーション力 責任感 気配り 行動力 負けん気 積極性 基礎学力 忍耐力 リーダーシップ 判断力 協調性 素直 規範意識 思いやり 誠実 常識 探究心 対応力</p> </div>
<p>3 社会人として必要な資質・能力を出し合い、自分が身に付けたいものを絞る。(なりたい自分)</p>	3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の興味・関心や特性を踏まえて、各自が気兼ねなく自己決定できるようにする。
<p>4 自己決定した資質・能力を身に付けるために、普段からできることを具体的に検討し、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決まりを守る力を身に付けるために、提出物は全て期限の2日前までに提出しよう。 ・ 判断力を身に付けるために、週に1回生活ノートに自分の判断の振り返りを書こう。 ・ 基礎学力を身に付けるために、毎日宿題プラスαを自主学習ノートにやろう。 ・ 対話力を高めるために、毎日授業で1発言(コメント)をノルマにしよう。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活上で挑戦・修正・継続する点を具体的な場面で考えて記入させる。 <p>◎学級担任がT2として机間支援に入り、日常生活を想起したり個性を踏まえたりしながら、自己決定を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T1は生徒の絞った資質・能力を基に、語り合いのグルーピングをしてから机間支援に入る。
<p>5 ミニ・カフェ形式で質問・感想・意見等を語り合い、他者からのアドバイスをもらう。(5分×2回)</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションソフトを用いて語り合いのポイントを示し、T1とT2のロールプレイングにより例示する。※(4)参照 ・ 多面的・多角的かつ主体的な実践につながるアドバイスが得られるよう、ミニ・カフェの構成は①生活班②ジグソー班の2回制とする。 ・ 時間内で全ての生徒が参加できるように、4人の班は、1対1の対話から広げていくよう促す。
<p><まとめ></p> <p>6 他者からのアドバイスを受けて自分の学習や生活の仕方を再考し、ワークシ</p>	6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒自身が「意義を感じることを重視し、段階を踏んだり試行錯誤を繰り返したりし

<p>ートを修正する。</p>		<p>ながら、本人の努力によって達成することができるようにバランスよく考えさせる。(自己理解・自己管理能力)</p> <p>◇多面的・多角的なアドバイスを基に、なりた い自分に近付くための方法を考えて、実践 しようとしている。(観察/ワークシート)</p>
<p>7 行員インタビュー「プロフェッショナルとは」の動画を見たり教師の説話を聞いたりして、実践の意欲を高める。</p>	<p>8分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行員の仕事にける想いを聞き出したインタビュー動画「プロフェッショナルとは」を活用して、生徒のモチベーションを高める前向きな説話を行う。 本時の学習内容の中・長期的な期間で効果的に振り返りに活用していけるよう、整理してキャリア・パスポートに挟むよう指示するとともに、生活ノートの活用も促す。

(4) ロールプレイング台本

A さん：私は「積極性」を高めたいと思います。そのために、学級委員とかいろいろなものにどんどん立候補したいと考えています。

B さん：えっ、どうしてそう思うの？

A さん：私は結構優柔不断なところがあって、前、部活動でユニフォームを決める時にも迷ってしまって…決断できなくて、みんなに迷惑をかけてしまうことがよくあるからです。

B さん：優柔不断で困ってる？…役職に就くと解決できるのかな？

A さん：…そうか、役職に就かなくてもはっきり発言する場を作っていくことで「積極性」が高められそうだな。

B さん：そうだね。どうすればできそう？

A さん：毎日最低一回は授業で挙手するようにしてみようかな。

B さん：それはいいね。いつからやるの？

A さん：授業は毎日あるから早速明日からやってみるよ。

B さん：じゃあ、できたかできなかったかはどうやって確かめていこうか？

A さん：毎日生活ノートにチェックしていくことにするよ。そうすれば自分でも客観的に振り返りができるし、先生からも励ましのコメントがもらえそうだからね。

B さん：明日の授業、A さんの発言楽しみにしてるよ。頑張ってるね。

A さん：うん、ありがとう。頑張るよ。

(5) デジタル板書計画

<p>画面①</p> <p style="text-align: center;">アンケート結果 (プレゼンテーション資料)</p>	<p>画面②</p> <p style="text-align: center;">行員インタビュー動画</p>																				
<p>画面③</p> <p style="text-align: center;">語り合いの手引き (プレゼンテーション資料)</p>	<p>画面④ 座席表</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>基礎学力</td> <td>協調性</td> <td>責任感</td> <td>忍耐力</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>榛名 太郎</td> </tr> <tr> <td>チャレンジ精神</td> <td>思いやり</td> <td>判断力</td> <td>礼儀</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>赤城 花子</td> </tr> </table>	基礎学力	協調性	責任感	忍耐力	...					榛名 太郎	チャレンジ精神	思いやり	判断力	礼儀	...					赤城 花子
基礎学力	協調性	責任感	忍耐力	...																	
				榛名 太郎																	
チャレンジ精神	思いやり	判断力	礼儀	...																	
				赤城 花子																	